

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市みずき園
(2)施設概要	①所在地 中央区大戸2-7-21 ②施設の設置目的 心身障害者が身近な地域の施設に通所し、必要な自立訓練や授産活動の場の提供を受け、社会参加の促進を図る。 ③施設の概要 敷地面積 641.35㎡ 延床面積 326.73㎡ 構 造 木造 平屋建 事業内容 生活介護事業(定員26名) 平成22年4月指定 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援) 平成27年4月指定
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和3年度41,760千円、令和4年度41,760千円、令和5年度41,760千円
(5)施設の管理運営の内容	①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 〈生活介護事業〉 ・利用者数 3,378人(前年度3,471人) ・稼働率52.8%(前年度55.6%) 〈相談支援事業〉 ・契約者数 21人 ◇業務実施状況 ・開所日数 246日 ・日常生活介護 ・日常健康管理、健康診断、歯科健診 ・日中活動支援(音楽、創作、作業、リラクゼーション、調理、レクリエーション) ・施設行事(季節行事、社会体験活動、音楽会) ②維持管理業務の状況 ・空調清掃業務 ・消防設備点検業務 ・建築設備定期点検業務 ・施設消毒 等
(6)収支状況	①収入 ・障害福祉サービス等事業 59,230千円 (前年度 57,179千円) ・指定管理料 41,760千円 (前年度 41,760千円) ・その他 411千円 (前年度 5,900千円) ・前期末支払資金残高取崩額 168千円 ②支出 ・人件費 82,763千円 (前年度 81,625千円) ・事務費 2,471千円 (前年度 1,740千円) ・施設管理費 5,232千円 (前年度 7,604千円) ・事業費 3,293千円 (前年度 3,515千円) ・繰入金 5,087千円 (前年度 5,087千円) ・その他 403千円 (前年度 5,268千円) ・本部追加繰入金 2,320千円

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>法人全体としては、さいたま市社会福祉事業団「みなさまの声」設置要項による投書箱の設置、サービス向上担当者会議による「福祉サービス利用者アンケート」の実施等により利用者からのご意見・ご要望を受付ける機会を設けた。</p> <p>施設としては、ご家庭との日々のやり取りである「連絡ノート」や、送迎時に直接ご意見・ご要望を聞き取るように努めた他、年数回の保護者会や個別面談は直接ご意見を伺う貴重な機会となった。</p> <p>ご要望としては、以前のように交通機関を利用した外出を行ってほしいといったものが多くあり、5年度に近場だが1回実施した。6年度は少し遠方への外出を予定している。また、祝日の開所日を増やしたことについて、ご利用者及びご家族から有難い、もっと増やしてほしいとのご意見も多くいただいた。6年度はさらに日数を増やす予定。</p> <p>今後も利用者及びご家族等のご意見・ご要望を伺いながら、また感染症等の様々な状況を確認しながら活動内容を検討し、皆様に喜んでいただけるように進めていくことをお伝えした。</p>
(8)その他	特になし

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
サービス向上のための具体的な提案	<p>利用者の皆様が安全で安心して過ごすことができるよう、毎日の帰りの会で情報を共有する他、毎月のケース会議で「ヒヤリハット」事例を検討し、事故防止に務めた。</p> <p>日常の活動では、新型コロナウイルス感染予防のため休止していた近隣中学校との交流活動を再開した。美術部の中学生と共にみずき園で紙すきを行い、お互いに笑顔で楽しむことができた。また、ピアショップや地域のイベントにも参加し、自主製品の販売を通してみずき園を知っていただけるように努めた。ハガキの大量注文を頂いたことで本人支給金の額も上り、利用者の皆様のやりがいにも繋がった。音楽会では、コロナのため自粛していた音楽ボランティアとの共演を復活。日々の練習の成果を発揮し、いきいきと演奏された。</p>
利用率向上のための具体的な提案	<p>中央区及び近隣区の相談支援事業所及び障害者生活支援センターを訪問し情報交換を行う他、特別支援学校進路相談会に参加し、新規利用者の受入れのための働きかけを行った。</p> <p>特別支援学校や障害者生活支援センターから見学希望や実習等のご相談があった時は積極的に受け入れ、みずき園について丁寧に説明し、新規利用に繋がるようにアピールを行った。</p>
利用者とのトラブル未然防止についての苦情受付体制等適切な対応の図れる体制	<p>職員が情報を共有できるように、毎日帰りの会で利用者動向の振り返りを行った。また毎月の会議では「ヒヤリハット」と「気になる支援」をまとめ、対応について意見を出し合い、検討した。</p> <p>利用者・ご家族からの苦情については、誠意をもって対応し、早期の解決と業務の改善に務めた。</p>

3 評価

(1) 指定管理者による評価

利用者の日常生活(食事・排泄・移動・衛生等)に個別性のある支援の提供に努め、「健康の維持と快適な生活」に寄与できるように支援した。

令和5年度は、6月から1名の新規入所があったが、ご家庭やご本人の都合で3名の退所もあった。1日平均利用者数は前年度14.5人から13.7人へ減少したが、祝日開所日を増やしたことで利用の機会が増え、ご家族にも喜んでいただけた。

活動においては、コロナ禍で自粛していた、みずき園の大きなイベントである「音楽会」を昨年10月に3年ぶりに実施したが、令和5年度はコロナ前のように音楽ボランティアと利用者が一緒に演奏するスタイルでの音楽会を復活でき、利用者が楽しみながらいきいきと演奏する姿が見られた。また、外出活動や販売活動等についても内容を検討し、公共交通機関を使つての外出や、利用者が販売活動に参加することなどの自粛していた活動を少しずつ再開した。

経費に関しては、引き続きみずき園の運営・活動に必要な支出について精査し、節電対策(照明器具や空調設備の適切な使用等)及び節水対策(日中の蛇口の確認、使用水量のチェック等)を行う他、消耗品の節約等の経費削減に務めた。

虐待防止の取組として、職場内研修の実施、法人主催研修の受講、外部研修の受講等を行った。また、接遇や意思決定支援の内部研修を行う他、虐待防止チェックリストを活用し、それぞれが日頃の支援を振り返ることにより良い支援に繋げていけるように取り組んだ。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局障害福祉部障害政策課)

総合評価(B)※A~D

食事や排泄などの日常生活における衛生・健康管理について、利用者の状況に合わせた個別性のある支援の提供を行っている。また、利用者アンケートや保護者との連絡ノートにあった「祝日の開所日をもっと増やしてほしい」との要望に応じ、土曜開所の日数を増やすなど、利用者満足度の向上にも努めた。また、「音楽会」をコロナ禍以前の方法で開催し、外出や販売活動についても実施の頻度を上げてきている。

昨年度は退所者が3名出たため、施設の稼働率は前年度よりも低下してしまったが、中央区及び近隣区の相談支援事業所及び障害者生活支援センターを訪問し情報交換を行い、特別支援学校進路相談会に参加するなど、新規利用者の受入れのための取組みも行っている。

以上のことを踏まえ、総合評価を「B」とした。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。また、施設の稼働率と利用者の満足度向上にむけて、指定管理者の取組みを見守るだけでなく、市として関与できる部分については連携していきたい。